

植物生体情報による施設園芸DX 導入説明会

日時

令和5年12月22日(金) 13:00~15:00

場所

愛媛大学農学部大会議室
(愛媛県松山市樽味3丁目5番7号)

オンライン
同時配信

参加費
無料

開催趣旨

2022年度にスタートした愛媛県内の社会課題をDXにより解決することを目指す県事業「デジタル実装加速化プロジェクト/TRY ANGLE EHIME」。昨年スタートした高糖度トマトの生産ノウハウ合理化の取組「植物生体情報による農業生産ノウハウDXの確立」も2年目終盤に差し掛かり、データ活用のユースケースも具体化してきました。トマト栽培設備への植物生体情報計測技術の導入にご興味ある方、取組の内容に興味がある施設園芸事業者の方を対象とした説明会を開催いたします。常に同じ効果が得られる訳ではないですが、昨年度実績として、屋根洗浄により農業の生産性に直結する光合成量が2倍になり、冬季の生育不良に繋がる要因を考察するためのデータや情報の創出、低日射条件でも二酸化炭素施用することで光合成を促進させるなど、様々な可能性を見出しています。人間の五感で捉えられる植物の生育状態は限られているため、農業生産のノウハウは暗黙知化し、参入障壁や資金流動化の支障になっています。植物生体情報計測技術によって、生産工程見える化による何が起きているかを考察する対象・データや情報を創造。暗黙知を形式知化、見える化により出資や融資など資金流動化、再現性ある産業としての農業の再構築を目指します。

次第

総合司会：藤内直道(愛媛大学大学院農学研究科 助教)

- 13:00 「プロジェクト現況と今後の展開と展望」
北川寛人(PLANT DATA(株) 代表取締役CEO)
- 13:15 「植物生体情報と高糖度トマト生産の収益性向上」
熊谷琢磨(有限会社フローラルクマガイ代表)
- 13:30 「生産者主体の勉強会と産地でのデータ共有の意義」
高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授、豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授)
- 13:45 休憩
- 14:00 「導入希望者の課題とデータ活用に関するディスカッション」

主催

植物生体情報DXによる栽培ノウハウの継承コンソーシアム(愛媛県デジタル実装加速化プロジェクト「TRY ANGLE EHIME」採択事業)、愛媛大学植物工場研究センター、豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

後援

日本生物環境工学会 東海・四国支部、日本生物環境工学会生物生体計測部会、「知」の集積と活用の場合産学官連携協議会 スマート・メガスケール植物工場研究開発プラットフォーム、CIGR(国際農業工学会) Plant factory and intelligent greenhouse WG、愛媛大学社会連携推進機構研究協力会スマート農業研究部会

事務局

愛媛大学植物工場研究センター

問い合わせ先

愛媛大学緑化環境工学研究室(担当:松田)

☎ 089-946-9850 E-mail:pd@agr.ehime-u.ac.jp

申込みフォームURL

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo2/mpmailec/form.cgi>

参加申込フォームより
お申し込みください

